

競技注意事項

- この大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。
競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、フィールド競技用シューズについてはTR5.2の適用を除外する。
- この大会は、第75回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会の予選会を兼ねる。
 - 各種目とも、男子4位(4名)・女子3位(3名)までが県大会の出場資格を獲得(*男女5000mWは1位(1名)のみ)する。ただし、5000mWは地区出場枠に入った者のうち、男子が32分未満、女子が37分未満の者、三段跳も地区出場枠に入った者のうち、男子が11m50以上、女子が9m50以上の者のみとする。なお、ハンマー投は地区出場枠に関わらず、出場標準記録(下記)を設け、最低12名(県下)とする。
1年男子：23m00、2年男子：30m00、1年女子：20m00、2年女子：23m00
 - 地区予選会の結果、出場資格を得た者を除いて、県下で各種目とも記録上位の者(男子8名・女子7名(競歩競技は男女各5名))に、+αとして出場資格を与える。+αには特別枠での県ユース出場者は含まれない。+αは7月26日(水)の常任委員会で決定し、連絡する。
- 招集について
 - 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
 - 種目別の招集開始時刻および招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
 - 招集の手順
 - 出場選手は、招集場に掲示した実施種目の一覧表を確認し、記載事項に誤りがあれば競技者係にその旨を伝える。
 - 招集開始時刻までに招集場で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、アスリートビブスとスパイクのチェックを受け、トラック競技(リレーを除く)のうち、1500m以上の種目では別アスリートビブスと別腰ナンバーを受け取ること。
 - 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず事前(第1種目の招集完了時刻まで)に招集場で競技者係から多項目同時出場届を受け取り、必要事項を記入のうえ提出し、許可を得ること。その際、招集に来ることができない種目の点呼(アスリートビブス、腰ナンバー、スパイクシューズ等の点検)を受けておくこと。
 - 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場の意志がないものとして処理する。
- 練習については、補助競技場が付設されていないので、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。但し、投てき練習は一切認めない。
- 3000mSCは競技場施設の関係で、障害物を2台設置した非公認レースで選手を選考する。
- スターティングブロックを含め、用具については競技場備え付けのものを使用する。但し、ハンマー・やりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとし、その用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- レーン順と試技順は、プログラムの各自のナンバーの前に記載の番号順とする。
- 決勝の組合せは、すべて番組編成員が公平に抽選し、招集場に掲示する。
- リレーのオーダーは、招集場で競技者係から用紙を受け取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- バーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	男子	練習(1m20)	試技	1m75 まで	5cm ぎざみ
				1m78 から	3cm ぎざみ
	女子	練習(1m00)	試技	1m45 まで	5cm ぎざみ
				1m48 から	3cm ぎざみ
棒高跳	男子・女子ともに	試技	2m00 から	10cm ぎざみ	

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- 競技場で使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は12mm以下とする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。